

令和2年度 事業報告書

(自令和2年1月1日 至令和2年12月31日)

一般財団法人日本ボクシングコミッション

2020年度事業報告書

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

1 業務管理について

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ガイドラインを策定し、JPBA との連絡協議会において、随時議論を経て改訂した。
- (2) 試合時のPCR検査の導入（地域によっては抗原検査）
 - ①病院、検査機関、検査会社等と打ち合わせし運営した。

2 試合管理に関して

- (1) 世界(男子 4/女子 5)、東洋太平洋(男子 8/女子 1)、WBO アジアパシフィック(男子 6/女子 0)、日本(男子 11/女子 5)のタイトルマッチ及びその他合計 92 興行の試合管理を行った。

●内訳

地区	2020	2019	差
東京	57	98	-41
中部	9	16	-6
関西	18	48	-29
西部	6	15	-9
合計	90	177	-85

- (2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、3,092 名

●内訳

種別	2020	2019	差
ボクサー	1,417	1,977	-560
男子	1,314	1,842	-528
女子	103	135	-32
プロモーター	55	63	-8
クラブオーナー	265	274	-9
マネージャー	383	474	-91
トレーナー	444	570	-126
セコンド	360	390	-30
マッチメーカー	2	4	-2
レフェリー	54	115	-61
タイムキーパー	14	13	1
アナウンサー	7	8	-1
ドクター	85	94	-9
進行	6	5	1
合計	3,092	3,987	-895

●ボクサーライセンス取得者（）内は女子ボクサー

	2020	2019	差
A級	387(27)	584(39)	-197
B級	181(13)	265(24)	-84
C級	849(63)	1128(72)	-279
合計	1417(103)	1977(135)	-560

(3) プロボクサー新人テスト実施をした。

●受験者数

地区	2020	2019	差
東京	193	316	-123
中部	46	56	-10
関西	62	131	-69
西部	26	60	-34
合計	327	563	-236

(4) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

(5) 試合役員研修会(勉強会)を実施した。

コロナ感染症のガイドラインの元、試合役員に対し徹底した感染予防対策に協力をしていただいた。

3 安全防護に関して

(1) PCR検査導入にあたり、コミッションドクターの勤務する病院を訪問した(関西地区管轄)。

(令和2年6月19日～令和2年6月24日)

(2) リング事故(急性硬膜下血腫受傷)

①重篤な事故はなかった。

3 国際交流について

各世界認定団体とは、コロナ感染予防の為オンラインによる会議が行われた。

4 ボクシング功労者の表彰について

2019年度年間優秀選手表彰式を開催した。

(1) 日時

令和2年2月7日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

令和2年1月?日実施

(4) 表彰選手

①プロの部 10 部門 (20 名)

(5) 各種チャンピオンの引退

●元日本ライト・フライ級チャンピオン 高橋悠斗 (K&W)

(6) 世界王座獲得

● I B F 世界フライ級チャンピオン 中谷潤人 (M. T)

● W B O 女子世界ミニマム級チャンピオン 多田悦子 (真正)

● W B O 女子世界スーパー・フライ級チャンピオン 奥田朋子 (ミツキ)

5 広報普及活動について

(1) ボクシング年鑑を発刊した。

令和2年4月1日

(2) ホームページの活用

最新情報を掲載した。

6 記録、資料について

選手記録(戦績、診断の記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。

7. その他

(1) 理事会を2回開催した。

①令和2年2月20日

②令和2年12月16日

(2) 評議員会を1回開催した。

①令和2年2月20日

(3) 物故者

2020年度にご逝去されたボクシング関係者は6名であった。

●大槻穰治 (JBC ドクター) 6月8日ご逝去 (62歳)

●渡辺治 (元日本ウエルター級王者、オサムジム会長) 8月3日ご逝去 (82歳)

●伊藤正治 (元日本ライト級&Jライト級王者、マサ伊藤ジム会長) 9月30日ご

逝去（73歳）

- 小林和男（元WBC世界フェザー級王者）11月17日ご逝去（71歳）
- 原田実雄（ハラダジム会長）12月21日ご逝去（79歳）

（4）処分関係

2020年度は、9案件14人を処分した。内容は以下の通りである。

① 鳥海純（TEAM 10COUNT：会長）の件

所属選手との間でJBC規定のマネージメント料を超えた額を長期にわたり選手から徴収していた。

- 鳥海純を令和2年1月1日より6ヶ月のライセンス停止処分。
（令和2年6月28日付）

② 枝川孝（六島：クラブオーナー）の件

自身の経営する不動産会社の法人税などを脱税し、法人税法違反などの罪で懲役1年、執行猶予3年の有罪判決を受けた。

- 枝川孝を令和2年8月24日よりライセンス資格無期限停止処分。
（令和2年9月9日付）

③ 春木博志（ミツキ：プロモーター）の件

令和元年12月14日、岸和田総合体育館サブアリーナに於いて、興行開始前に元トレーナーを殴り傷害罪で起訴された。

- 春木博志を令和元年12月14日より1年間のライセンス停止処分。
（令和2年9月9日付）

④ 山口怜恩（ワタナベ：ボクサー）の件

令和2年9月24日、PCR検査後にホテルへ直行すべきところ、ファミリーレストラン内で食事のテイクアウトのため店内に並んでいるところを目撃された。

- 山口怜恩を嚴重注意処分。
- 渡辺均（ワタナベ：クラブオーナー）を嚴重注意処分
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。
（令和2年9月25日付）

⑤ 川島勝（フラッシュ赤羽：プロモーター）の件

令和2年9月8日の主催興行において、主催者が起用したラウンドガール数名が控室で飲酒し、一部酩酊状態で会場内を徘徊していた事実が判明した。

- 川島勝を令和2年9月8日より6ヶ月のライセンス停止処分及び制裁金50万円。
（令和2年10月15日付）

⑥ 寺地拳四朗（BMB：ボクサー）の件

令和2年7月19日、飲酒後、酩酊状態となり、マンション敷地内に無断で侵入し他人の車を傷つけた。

- 寺地拳四朗を令和2年12月1日より3ヶ月のライセンス停止処分及

び制裁金 300 万円並びに 6 ヶ月の間に通算 48 時間以上 200 時間以内の社会貢献活動の義務付け。

- 寺地永（BMB：クラブオーナー）を戒告処分
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（令和 2 年 12 月 8 日付）

⑦ 大森将平（ウォズ：ボクサー）の件

令和 2 年 11 月 22 日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に試合をキャンセルさせた。

- 大森将平を嚴重注意処分。
- 大森昌治（ウォズ：クラブオーナー）を嚴重注意処分
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（令和 2 年 12 月 21 日付）

⑧ 山本ライアンジョシュア（ワタナベ：ボクサー）の件

令和 2 年 12 月 20 日の試合前日計量において 0.3kg 体重超過し、計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

- 山本ライアンジョシュアを令和 2 年 12 月 20 日より 1 年間のライセンス停止処分。
- 山元浩嗣（ワタナベ：マネージャー）を戒告処分

理由－マネージャーとしての管理監督責任。

（令和 2 年 12 月 21 日付）

⑨ 木村文祐（JM 加古川：ボクサー）の件

令和 2 年 11 月 28 日の試合前日計量において、減量失敗による体調不良を理由に試合をキャンセルさせ計量会場に現れなかった。

- 木村文祐を嚴重注意処分。
- 熱山セシール（JM 加古川：クラブオーナー）を嚴重注意処分
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（令和 2 年 12 月 23 日付）

以上